

■株主×モ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31までの1年

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会については毎年3月31日、

その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日

配当受領株主確定日 每年3月31日及び中間配当を行うときは9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店

郵便物送付及び電話照会先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063)

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 証券代行事務センター

電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)

中央三井信託銀行株式会社 全国各支店

日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

電子公告の方法により行います。

なお、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載することいたします。

公告掲載URL (<http://www.takaratomy.co.jp>)

上場取引所 東京証券取引所

お知らせ

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

- フリーダイヤル 0120-87-2031(24時間受付:自動音声案内)
- ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html



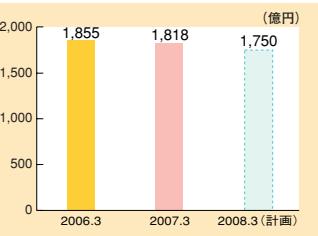
2007年3月期(第56期)
年次報告書
2006年4月1日～2007年3月31日

TAKARA
TOMY

決算ハイライト

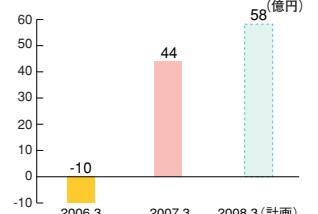
売上高

2006年3月期
1,855(億円) → 2007年3月期
1,818(億円)



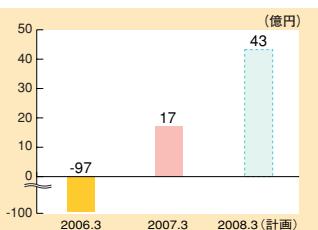
経常利益

2006年3月期
△10(億円) → 2007年3月期
44(億円)



当期純利益

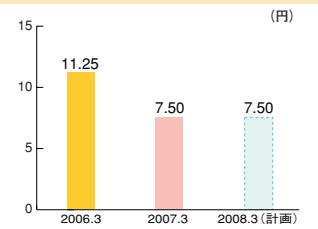
2006年3月期
△97(億円) → 2007年3月期
17(億円)



1株当たり配当金

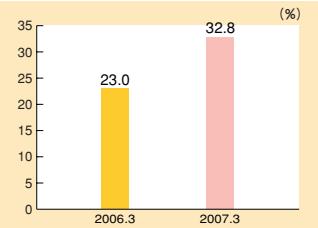
2006年3月期*
11円25銭 → 2007年3月期
7円50銭

*2005年11月21日付にて、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行いました。当該株式分割が前期首に行われた場合の1株当たり年間配当金は実質7円50銭です。



自己資本比率

2006年3月期
23.0% → 2007年3月期
32.8%



ごあいさつ

Message from the President

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期の玩具市場は、家庭用ゲーム機市場が幅広い年齢層の人気を集め賑わう一方、一般玩具においては大変厳しい一年となりました。こうした厳しい環境下、当社業績につきましては、堅調な定番ライン、海外子会社の好調に加え、コスト削減の徹底などにより、利益面では残念ながら年初計画には及ばなかったものの黒字確保ができ、確実に収益体質強化が図られつつあると認識しております。また、合併後の組織体制も落ち着き、マネジメントの強化、玩具と玩具周辺に経営資源を集中したグループ再編の推進により、攻めの体制も整ってまいりました。

当社は、2007年度を日本No.1から世界No.1への「飛躍の10年」をスタートさせる元年と位置づけています。2007年3月には戦略的パートナーとして新たに米国の大手プライベート・エクイティ投資会社TPGとの資本・事業提携を締結しました。合併実質2年目を迎えた今、新しい経営ノウハウも導入しながら、更なる収益体質の追求と、ブランド力強化など、成長へのスピードを加速し、皆様の期待に応えられる企業を目指してまいります。

日本人の感性、日本人の文化をもとに、おもちゃを待つ世界中の子どもたちに「新しい遊びの価値」を提供するグローバルカンパニーを目指すとともに、企業価値の向上のため邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。



代表取締役社長
富山 幸太郎

米大手ファンド「TPG」との戦略的資本・事業提携を締結

2007年3月、当社は、TPGとの間で戦略的資本・事業提携を締結し、当社グループのグローバルベースでの競争力の強化、収益力の向上、ひいては企業価値の拡大を図ることを決定いたしました。

当社はTPGを当社グループのバリュー・アップ(企業価値向上)を実現するためのパートナーとして、TPGの投資先を含む海外ネットワーク、事業運営経験からの経営ノウハウ等を最大限活用しながら、様々な課題に取り組んでまいります。

この提携を通して、当社グループの財産である良質なおもちゃコンテンツをグローバルブランドに育て上げ、おもちゃを通じて日本文化の良さを世界に向けて発信していきます。

流通再編 持株会社「タカラトミー販売」設立

当社は、「おもちゃルネッサンス」をスローガンに、玩具流通再編に取り組んでおります。その一環として、2007年4月2

CSRへの取り組み

当社は子どもたちの将来を担う企業として、事業を通じて社会から信頼される企業を目指しています。お客様に安全で安心できる製品を提供するための体制をさらに強化しています。コンプライアンス体制についてはリスク管理の強化、通報制度の導入等にグループ全体で取り組み不正防止や情報の透明化を図っています。環境保全については「のほほん族」や「リカちゃん」のキャラクターを活用し、

日に、(株)タカラトミー販売を設立しました。(株)タカラトミー販売は、持株会社として(株)ユースース、トイズユニオン(株)を子会社に持ち、「夢とあそびの総合商社」を目指し、玩具やテレビゲームの販売会社として業界活性化のための流通改革に取り組んでまいります。

「キディランド」を子会社化

当社は、2007年5月、東京・原宿を拠点とし、ファンシーグッズなどの販売を手がける(株)キディランドの第三者割当増資を引き受け、子会社化いたしました。直営店47店舗、フランチャイズ38店舗という同社の全国店舗網を活用し、消費者及び売場視点からの戦略的なおもちゃ売場の構築やオリジナル商品の開発などを積極的に推進してまいります。



環境に配慮した商品づくりだけでなく、エコライフ活動、温暖化対策活動の提案をしています。



当期連結業績の概況

当社グループは、2006年3月のタカラ・トミー合併以降、玩具並びに玩具周辺事業に経営資源を集中し、統合シナジーの追求、社内融合の推進等、合併実質初年度として着実に事業基盤の再構築と収益力の強化を図ってまいりました。本年3月には、米国の大手プライベート・エクイティ投資会社であるTPGとの戦略的資本・事業提携に合意し、当社グループ中核事業におけるコンピタンス強化、国内市場におけるプレゼンス拡大、海外事業の拡大等を目指したバリュー・アップ(企業価値向上)プランに着手いたしました。

事業面では、国内玩具事業において、定番商品群や戦略

商品等が堅調に推移したものの、ボーイズキャラクター商品、カードゲーム商品等の販売不振等により苦戦を強いられました。海外玩具事業においては、プリスクール商品等が好調に推移し順調に業績を伸ばしました。また、玩具周辺事業においては、任天堂商品を取り扱うトイズユニオン(株)が大幅に業績を拡大させました。この結果、当連結会計年度の売上高は、前期においてグループ企業の再編を行った影響もあり181,884百万円と減少したものの、統合シナジーの実現により営業利益4,731百万円、経常利益4,486百万円、当期純利益1,772百万円と前期実績を大幅に上回ることができました。

玩具事業

国内市場では、トミカ「ハイパースキュー」シリーズやプラレール「おおきなドームステーション」、リカちゃん「おへやいっぱい ゆったりさん」など、定番商品群に投入した新商品が人気を呼ぶとともに、女児キャラクター「きらりん☆レボリューション」のミルフィーカード、赤外線コントロールカー「Qステア」や貯めたくなる貯金箱「人生銀行」が好調に推移いたしました。しかしながら、ボーイズキャラクター商品や「デュエル・マスターズ」などのカード商品は携帯型ゲームの影響を大きく受け苦戦し、総じて厳しい状況にて推移いたしました。

海外市場においては、米国及び欧州で「きかんしゃトーマス」

シリーズが引き続き好調に推移したほか、米国市場で「トランسفォーマー」が売上を伸ばすとともに人気キャラクター「NARUTO」を使用したゲームソフトが人気を博しました。欧州では、インファンント・プリスクール商品の販売が堅調に推移しました。

この結果、玩具事業における売上高は94,571百万円、営業利益は5,728百万円となりました。

© 2006 Gullane (Thomas) Limited



玩具周辺事業

国内販売子会社のトイズユニオン(株)は、任天堂商品の取扱い増加により大幅に業績を伸長させました。ユージングループはデータカードゲームとの競合によるカプセル玩具の苦戦やコンビニエンスストア向けの商品などの動きが鈍化し低调に推移しました。

この結果、玩具周辺事業における売上高は84,761百万円、営業利益は1,536百万円となりました。

アミューズメント事業

アミューズメント事業における売上高は6,506百万円、営業損失36百万円であります。本事業を担当しておりました(株)アトラスの当社保有株式を売却し、当社連結子会社でなくなったことから、上記業績は(株)アトラスの当該中間決算期までの業績を計上したものです。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

科目	当期 (2007年3月31日現在)	前期 (2006年3月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	66,056	76,409
現金及び預金	24,323	25,263
受取手形及び売掛金	22,727	25,766
有価証券	64	64
たな卸資産	11,948	14,058
繰延税金資産	3,586	5,199
その他	3,930	6,603
貸倒引当金	△524	△546
固定資産	29,239	40,496
有形固定資産	16,477	22,902
建物及び構築物	6,651	7,429
機械装置及び運搬具	441	742
工具器具備品	3,035	5,039
土地	6,185	7,560
建設仮勘定	162	2,130
無形固定資産	2,302	2,018
投資その他の資産	10,459	15,575
投資有価証券	6,775	8,594
繰延税金資産	777	93
その他	2,932	6,987
貸倒引当金	△25	△100
繰延資産	42	28
資産合計	95,338	116,933

科目	当期 (2007年3月31日現在)	前期 (2006年3月31日現在)
【負債の部】		
流動負債	38,880	56,565
支払手形及び買掛金	8,916	13,021
短期借入金	17,105	28,024
一年以内償還予定社債	2,250	700
一年以内返済予定長期借入金	627	1,633
未払金	4,924	5,954
未払費用	3,700	3,871
その他	1,356	3,359
固定負債	23,327	24,512
社債	3,483	4,650
新株予約権付社債	12,718	5,719
長期借入金	2,835	4,389
退職給付引当金	1,370	1,927
その他	2,919	7,826
負債合計	62,207	81,077
【純資産の部】		
株主資本	31,871	28,919
資本金	3,459	3,459
資本剰余金	7,251	6,050
利益剰余金	21,267	20,438
自己株式	△106	△1,028
評価・換算差額等	△568	△2,052
その他有価証券評価差額金	864	406
繰延ヘッジ損益	123	—
土地再評価差額金	△673	△673
為替換算調整勘定	△883	△1,785
少数株主持分	1,828	8,988
純資産合計	33,130	35,855
負債純資産合計	95,338	116,933

(単位:百万円)

連結損益計算書(要旨)

科目	当期 自 2006年4月 1日 至 2007年3月31日	前期 自 2005年4月 1日 至 2006年3月31日
売上高	181,884	185,581
売上原価	134,373	133,046
売上総利益	47,511	52,534
販売費及び一般管理費	42,779	52,953
営業利益又は営業損失(△)	4,731	△418
営業外収益	1,165	1,291
営業外費用	1,410	1,916
経常利益又は経常損失(△)	4,486	△1,044
特別利益	1,004	6,803
特別損失	1,660	19,507
税金等調整前当期純利益又は純損失(△)	3,831	△13,747
法人税、住民税及び事業税	1,419	1,128
還付法人税等	△85	—
法人税等調整額	1,120	△3,108
少数株主損失(△)	△395	△2,055
当期純利益又は純損失(△)	1,772	△9,712

(単位:百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	当期 自 2006年4月 1日 至 2007年3月31日	前期 自 2005年4月 1日 至 2006年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,274	△4,898
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,765	△4,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	124	1,649
現金及び現金同等物に係る換算差額	345	15
現金及び現金同等物の減少額(△)	△1,021	△7,616
現金及び現金同等物の期首残高	24,987	22,566
現金及び現金同等物の期末残高	23,965	24,987

(単位:百万円)

連結株主資本等変動計算書(要旨) (自 2006年4月1日 至 2007年3月31日)

	株主資本					評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
2006年3月31日残高	3,459	6,050	20,438	△1,028	△28,919	△2,052	8,988	35,855
連結会計年度中の変動額								
新株の発行	0	0			1			1
剰余金の配当			△699		△699			△699
役員賞与			△46		△46			△46
当期純利益			1,772		1,772			1,772
自己株式の取得				△23	△23			△23
自己株式の処分		1,200		944	2,145			2,145
持分法除外による増加			83		83			83
連結除外による減少			△281		△281			△281
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					—	1,483	△7,159	△5,676
連結会計年度中の変動額合計	0	1,200	828	921	2,951	1,483	△7,159	△2,725
2007年3月31日残高	3,459	7,251	21,267	△106	31,871	△568	1,828	33,130

(単位:百万円)

個別財務諸表

個別貸借対照表(要旨)

科目	当期 (2007年3月31日現在)	前期 (2006年3月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	40,462	36,708
現金及び預金	14,974	10,440
受取手形	322	479
売掛金	7,154	8,479
有価証券	64	64
たな卸資産	4,597	4,144
関係会社短期貸付金	8,753	5,917
繰延税金資産	2,782	4,586
その他	2,421	3,393
貸倒引当金	△608	△798
固定資産	31,548	39,037
有形固定資産	11,821	11,816
建物	5,131	3,033
工具器具備品	1,649	2,332
土地	4,928	4,748
その他	113	1,703
無形固定資産	457	526
投資その他の資産	19,268	26,693
投資有価証券	3,904	3,982
関係会社株式	12,210	18,920
関係会社長期貸付金	4,907	5,393
繰延税金資産	302	—
その他	1,263	1,399
貸倒引当金	△3,319	△3,001
繰延資産	42	28
資産合計	72,052	75,774

科目	当期 (2007年3月31日現在)	前期 (2006年3月31日現在)
【負債の部】		
流動負債	26,045	30,953
支払手形及び買掛金	5,288	4,107
短期借入金	13,220	19,556
一年以内返済予定長期借入金	500	858
一年以内償還社債	2,000	600
未払金	3,206	3,703
その他	1,830	2,127
固定負債	20,203	20,492
社債	3,400	4,400
新株予約権付社債	12,718	5,719
長期借入金	—	750
退職給付引当金	808	753
投資損失引当金	1,710	5,704
その他	1,566	3,164
負債合計	46,249	51,445
【純資産の部】		
株主資本	25,742	24,133
資本金	3,459	3,459
資本剰余金	7,190	6,050
利益剰余金	15,189	14,925
自己株式	△96	△301
評価・換算差額等	61	195
その他有価証券評価差額金	595	868
繰延ヘッジ損益	139	—
土地再評価差額金	△673	△673
純資産合計	25,803	24,328
負債純資産合計	72,052	75,774

(単位:百万円)

科目	当期 自 2006年4月 1日 至 2007年3月31日	前期* 自 2005年4月 1日 至 2006年3月31日
売上高	63,692	40,416
売上原価	42,625	27,052
売上総利益	21,066	13,363
販売費及び一般管理費	19,668	12,612
営業利益	1,397	751
営業外収益	1,600	1,173
営業外費用	755	569
経常利益	2,242	1,354
特別利益	401	2,273
特別損失	871	3,661
税引前当期純利益又は純損失(△)	1,772	△32
法人税、住民税及び事業税	79	79
還付法人税等	△85	—
法人税等調整額	812	△3,213
当期純利益	966	3,101

(単位:百万円)

会社法における会計について

2006年5月施行の会社法により、以下の点が変更になりました。

■貸借対照表において「資本の部」が廃止され、「純資産の部」が新設されました。

これは、貸借対照表上、資産性を持つものを「資産の部」、負債性を持つものを「負債の部」に記載し、それらに該当しないものを資産と負債との差額として「純資産の部」に記載するものです。これにより、会社の支払い能力などの財政状態を、より適切に表示することが可能となります。

なお、連結・個別貸借対照表における前期末「純資産の部」の数値につきましては、同「資本の部」の数値を組み替えて表示しております。

■「株主資本等変動計算書」が新設されました。

「連結剰余金計算書」「利益処分計算書」が廃止され、「株主資本等変動計算書」が新設されました。これは、貸借対照表の「純資産の部」の中で、主として株主の皆様に帰属する株主資本について、その1会計期間における変動事由と変動額をご報告するために作成する計算書類です。

■「個別損益計算書」において「未処分利益」の計算区分が廃止されました。

期中における剰余金の変動は、新設された「株主資本等変動計算書」で説明されるため、「未処分利益」の計算区分が廃止されました。

個別株主資本等変動計算書(要旨) (自 2006年4月1日 至 2007年3月31日)

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
2006年3月31日残高	3,459	6,050	14,925	△301	△24,133	195	24,328
事業年度中の変動額							
新株の発行	0	0			1		1
剰余金の配当			△701		△701		△701
当期純利益			966		966		966
自己株式の取得				△23	△23		△23
自己株式の処分		1,139		228	1,367		1,367
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)					—	△134	△134
事業年度中の変動額合計	0	1,140	264	204	1,609	△134	1,475
2007年3月31日残高	3,459	7,190	15,189	△96	25,742	61	25,803

タカラトミー・おもちゃ箱

当社は、「トミカ」や「プラレール」、「リカちゃん」など幅広い年代に愛されるロングセラー商品を多数抱える強みを活かし、玩具を中心としたオリジナルコンテンツの活用、周辺事業と連携した展開を積極的に行っております。

Special Feature 「リカちゃん」は、2007年で誕生から40年目を迎えました。

新コンセプトは、“親子のコミュニケーション” & “おしゃれ知育”。2007年の年間展開テーマとして立ち上げる「リカ ワールドツアーシリーズ」は、従来の「親しみやすいかわいさ」から「洗練されたおしゃれ」にイメージを一新。“旅”というテーマの中で、“あいさつ”や“テーブルマナー”などの社会的な学びを楽しく自然に行うことができるシリーズです。

LICCA WORLD TOUR

「リカちゃん」の旅の様子は、HP上に開設されている『リカちゃんの旅ブログ』において、見ることができます (<http://licca.takaratomy.co.jp/>)。ブログには、旅先の写真とともに、「リカちゃん」がその地で見たこと・感じたことが綴られており、親子で楽しく読んでもらえるように、動画や音声を使用したものになっています。

リカちゃんとは？ 「リカちゃん」は、1967年に女の子の夢とあこがれをかたちにするせ替え人形として誕生して以来、その時代の文化・流行を取り入れて変化しつつ、累計約5,300万体を出荷販売してきました。今や着せ替え人形の代名詞ともいべき存在であり、日本を代表するロングセラーのひとつです。祖母、母、娘の三世代にわたり親しまれ、40年、それぞれの時代の女の子達と一緒に成長してきた「リカちゃん」には、人形遊びを通して育まれる優しさや慈しみの心、コミュニケーション、お洋服遊びによる感性の発達など、女の子の健やかな成長への願いが込められています。



トミカ 1970年発売 2006年度に人気を博した「トミカハイパーシリーズ」に待望の新キャラ「ハイパーブルーポリス」が登場しました。トミカの世界がますます広がります。



プラレール

プラレール 1959年発売 レールをつなげる楽しさはそのままに、N700系新幹線営業運転にあわせた新商品発売など、鉄道の話題商品も展開してまいります。

定番コンテンツ

せんせい®

せんせい 1977年発売
今年は発売30周年を迎えます。
2色の色を自由に使い分けできる
新定番「2カラーせんせい」が人
気です。



人生ゲーム

人生ゲーム 1968年発売
「人生山あり谷あり」の人生ゲームに「ミッキーマウス人生ゲーム」が登場しました。ミッキーになって夢の世界を体験できます。



黒ひげ危機一発

黒ひげ危機一発 1975年発売
映画とタイアップした「黒ひげ危機一発パイレーツ・オブ・カリビアン」を発売しました。剣を刺すと樽の中の“ジャック・ Sparrow”が臨場感あふれるセリフを叫びます。



TOMIX

トミックス 1976年発売
本物を忠実にモデル化した鉄道模型「トミックス」は奥が深く、子どもから大人までいつまでも楽しめます。



話題・ヒット商品



人生銀行

【人生銀行シリーズ】 500円硬貨専用で最大10万円が貯まる貯金箱の中に、デジタル住人を住ませた「人生銀行」。目標金額と期日を設定し、お金を入れるとストーリーが展開していく、入金ペースが遅いと催促したり、お金を投入するごとに結婚・引越しなど様々な人生模様を楽しませてくれます。貯金箱ブームの立役者として、話題となっています。



Q STEER

[Qステア] チヨロQのボディ形状はそのままに、赤外線コントロールができるようになった「Qステア」は、2006年9月に発売し、わずか半年で100万個以上を出荷したヒット商品となりました。コレクションモデルやカスタマイズパーツなど、遊びの幅を広げ、ますます盛り上がります。



きらりん☆レボリューション

【きらりん☆レボリューション】 「きらりん☆レボリューション」は、マンガ・アニメ等で女の子に大人気のコンテンツです。中でも「きらりんミルフィーカード」は、カードでファッショナコーディネートをして遊べる商品で初年度には3,000万枚を出荷するヒット商品となっています。今年は、自分のオリジナルカードを作れる「ミルフィーカードメーカー」も発売し、2年目も引き続き女の子の夢を叶えてまいります。



© 中原杏／小学館・きらりんプロジェクト・テレビ東京

タカラトミー・おもちゃ箱

トランスフォーマー

【トランスフォーマー】 世界で最も有名なロボットが、2007年8月4日、新世代のSF映画「TRANSFORMERS」となって、全国550館で封切られます。ハリウッドのトップともいべきクリエイター、スティーブン・スピルバーグとマイケル・ベイがタッグを組んだ超大作です。ハリウッドデザインを完全玩具化した映画関連商品が世界のおもちゃ売場にぎわせます。



© 1985 2007 TOMY
© 2007 DreamWorks LLC & Paramount Pictures Corporation.
© 2007 Hasbro. All Rights Reserved. TM & © denote U.S. Trademarks.
Manufactured under license from TOMY Company, Ltd.

CAUL カウル

【カウル】 2007年8月、驚きの低価格赤外線コントローラーが誕生します。手のひらサイズ(1/38サイズ)で、組立ても簡単。豊富な車種で全世界1,000万台の販売を目指します。



期待の商品

ロコボ

テスクでかうペットロボット

【ロコボ】 「ロコボ」は、体が前後にゆれる!耳がバタバタ動く!顔の表情が液晶で様々に変化する、気まぐれで小さなペットロボットです。ごはんを食べたり、うんちをしたり、病気になったりといったペッタらしいアクションの他にも、占い機能、歌機能もついています。



i-SOBOT

オムニボット i-SOBOT

【Omnibot17μ i-SOBOT】

身長わずか16.5cmという世界最小の二足歩行ヒューマノイド型ロボットが誕生しました。

自社開発の超小型サーボモーターユニットを17個搭載し、ジャイロセンサーの採用により多彩でスムーズなアクションが可能です。さらに、音声や効果音も280種以上、ボタンの組み合わせで簡単に作れるプログラムや音声認識と楽しい機能が満載です。

*地球上にやさしい充電池・充電器(SANYO「eneloop」)を同梱しています。



ポケモンバトリア

【ポケモンバトリア】 2007年夏、大人気の“ポケモン”がアミューズメントマシンで新旋風を巻き起こします。「ポケモンバトリア」は、従来のキッズアミューズメントマシンがカードのデータを読み込んで遊ぶものが主流なのに対し、直径4cmの円形パックを動かしてゲーム画面のポケモンを直接操作して遊ぶことができます。ポケモン史上初となる最大3vs3トリオバトルが楽しめます。

©2007 Pokémon.
©1995-2007 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
Developed by TOMY and AQ INTERACTIVE
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは、任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。



おもちゃかわらばん

ウィーン市フロリズドルフ区 友好訪問団が来社



東京都葛飾区とウィーン市フロリズドルフ区は1987年に友好都市提携してから20周年を迎えました。20周年を記念して、フロリズドルフ区からの友好訪問団18名が4月9日に来日し、葛飾区を代表する企業として当社へ訪問されました。「ろくろ俱楽部」での陶芸体験や、各種商品の実演、抹茶でのおもてなしなど、日本のおもちゃ文化に触れていただき文化交流を図りました。また、その企業貢献について葛飾区長から感謝状を頂きました。

おもちゃかわらばん

トミカ博、プラレール博、リカちゃん展開催



4/27~5/6の10日間で、「トミカ」、「プラレール」、「リカちゃん」の3大定番アイテムのイベントが開催されました。毎年恒例の「トミカ」、「プラレール」に加えて、今年は新たに「リカちゃん」のイベントがスタートしました。総数約25万人のお客様にご来場いただき好評を博しました。

タカラトミー公式サイト 「トイホビーマーケット」リニューアルオープン

2006年5月にオープンした、タカラトミーの公式ショッピングサイト「トイホビーマーケット」が2007年4月に全面リニューアルしました。メーカー公式直販サイトで、ここでしか買えないオリジナル限定品と充実した商品ラインナップが魅力です。

<http://www.toyhobby.jp/> →



■ 株式の状況

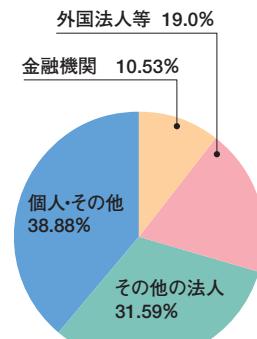
発行可能株式総数	160,000,000株
発行済株式の総数	96,290,850株
単元株式数	100株
株主数	66,072名

■ 大株主

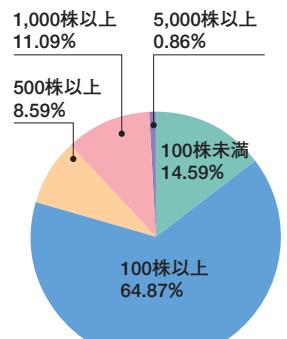
株主名	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社インデックス・ホールディングス	17,307,996	18.12
ティービージー リッチモント ウン エル ビー	13,545,800	14.18
富山幹太郎	4,898,566	5.13
有限会社トミーインシュアランス	4,520,952	4.73
富山章江	2,483,101	2.60
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,014,100	2.10
東京中小企業投資育成株式会社	1,520,312	1.59
モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・インターナショナル・リミテッド	1,321,340	1.38
第一生命保険相互会社特別勘定年金口	1,014,400	1.06
富山優	961,764	1.00

(注)出資比率は自己株式(810,312株)を控除して計算しております。なお、株主名簿上は当社名義になっておりますが、実質的に所有していない株式が712株あります。

■ 所有者別株式数比率



■ 所有株式数別株主数比率



■ 株主優待

当社は、下記のとおり株主優待を実施いたします。

① 対象

2007年3月31日現在の当社株主名簿および実質株主名簿に基づき、100株以上保有の株主様に株主優待品を贈呈いたします。

② 優待内容

保有株式数 100株以上1,000株未満の株主様



オリジナルトミカ1台



オリジナルトヨロQ1台

© 2007 DreamWorks,LLC & Paramount Pictures Corporation.Manufactured under license from TOMY Company,ltd
© 2007 Hasbro,Pawtucket,RI 02862 USA.
ALL Rights Reserved.TM ® denote U.S. Trademarks.Hasbro,Canada,Lonqueuil,
QC,Canda J4G 1G2.Product and colors
may vary.
© 1985 2007 TOMEY

保有株式数 1,000株以上の株主様



© 2007 TOMEY



© Disney

③ 発送時期

2007年7月下旬を予定しております。

■ 会社概要 (2007年3月31日)

商号 株式会社タカラトミー
本社所在地 〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10
設立 1953年1月17日
資本金 3,459,532,800円
主な事業内容 玩具・雑貨・カードゲーム・家庭用ゲームソフト・乳幼児関連商品等の企画、製造および販売

従業員数

取引銀行

552人
三井住友銀行 みずほ銀行
三菱東京UFJ銀行 新生銀行 商工中金
みずほ信託銀行 りそな銀行 足利銀行
東京都民銀行 中央三井信託銀行
農林中央金庫

役員

(2007年6月26日現在)

代表取締役社長 富山 幹太郎
取締役副社長 佐藤 慶太
専務取締役 奥秋 四良
常務取締役 三浦 俊樹
取締役専務執行役員 高橋 勇
取締役常務執行役員 真下 修
取締役常務執行役員 日比 靖浩
取締役(社外) 渡辺 泰行
取締役(社外) 椿 進
取締役(社外) 津坂 純
取締役(社外) 石田 昭夫
常勤監査役 野沢 武一
監査役(社外) 梅田 常和
監査役(社外) 野上 順
監査役(社外) 水戸 重之
監査役(社外) 吉成 外史

執行役員

常務執行役員 岡田 三郎
常務執行役員 柳澤 茂樹
執行役員 神尾 俊二
執行役員 黒木 健一
執行役員 沢田 雅也
執行役員 須佐 謙一
執行役員 田島 省二
執行役員 力石 稔

■ 主要グループ会社 (2007年6月26日時点)

◆ 国内

株式会社ユージン カプセル玩具等の企画製造販売
株式会社ユーメイト 玩具雑貨の企画製造販売
株式会社トミーテック 鉄道模型等の企画製造販売
株式会社ハートランド ぬいぐるみ等の企画製造販売
株式会社トミーダイレクト 玩具等の輸入販売
株式会社すばる堂 玩具菓子の企画製造販売
松山製菓株式会社 菓子等の企画製造販売
株式会社ティンカーベル キッズアパレルの企画製造販売
和興株式会社 ベビーアパレルの企画製造販売
株式会社竜の子プロダクション アニメーション企画制作等
株式会社タカラトミー販売 流通・販売戦略の立案・管理
株式会社ユエース 玩具等の卸販売
トイズユニオン株式会社 家庭用ゲーム関連商材・玩具等の卸販売
株式会社キデイランド 玩具・雑貨・書籍等の小売
株式会社アクロスウェーブ 自動販売機による菓子販売
トミー興産株式会社 書籍・DVD・和洋菓子等の販売
株式会社ウォーターデザインスクープ プロダクトデザイン・コンサルティング等
株式会社タカラトミーエンジニアリング 玩具等の開発技術支援
株式会社T2L 株式会社T2システム
株式会社T2GS 株式会社T2GS
情報システムの開発運用保守
アフターサービス

◆ 海外

欧州 TOMEY UK LTD. 玩具等の販売
TOMEY FRANCE S.A.R.L. 玩具等の販売
TOMEY YUJIN EUROPE LTD. カプセル玩具等の販売
北米 TOMEY CORPORATION 玩具等の販売
TOMEY YUJIN CORPORATION カプセル玩具等の販売
TOMEY(HONG KONG) LTD. 玩具等の製造
TOMEY(SHENZHEN) LTD. 玩具等の製造
TOMEY(SHANGHAI) LTD. 玩具等の販売
TOMEY(THAILAND) LTD. 玩具等の製造
TOMEY YUJIN KOREA CO.,LTD. カプセル玩具等の販売
YUJIN(HONG KONG) LTD. カプセル玩具等の製造